

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(主)戸隠篠ノ井線				
事業毎の通番		17	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	上楡木(かみにれき)			
事業概要	事業目的	当該路線は長野市鬼無里地区から長野市戸隠地区を結ぶ重要な幹線道路であり、戸隠地区の観光地へ通じる道路である。しかし、現道は幅員狭小のため、交通の難所であり、特に観光シーズンの通行に支障をきたしている。県防災計画の2次緊急輸送路線でもあるため、拡幅を行うものである。							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	なし							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：797台/日							
	着手年度	平成30年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	1.0		国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=400m、W=5.5(7.0)m			300,000			270,000	30,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 緊急輸送路(2次)の整備 災害に強い道路							
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興							
評価の視点	必要性	○計画交通量：797台/日 ○代替道路の有無：代替道路はあるが安全性が低い ○医療・福祉・教育施設との連携：戸隠中学校連携が発揮できる道路(1次アクセス) ○交通結節点アクセス：市営バス路線 ○観光振興・地域の活性化：観光地に通じる道路(篠ノ井～戸隠宝光社、中社、奥社)、戸隠診療所、保健センター						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：なし ○緊急輸送道路の路線指定：県緊急輸送路(2次)に路線指定 ○地域指定：信越観光圏域、振興山村、過疎地域、特別豪雪地帯、積雪地域に指定						評価	B
	効率性	○費用便益比(B/C)：1.01 ○事業期間：7年間 ○工法等の比較検討：コスト削減のための比較検討あり ○他事業との連携：なし						評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：7件/5年(H24～H28:車対車) ○道路環境改善：すれ違い困難箇所の局所的現象の緩和 ○歩道整備：なし ○現況の車道幅員、半径、勾配：車道幅員3.5m～5.0m、7%						評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：上楡木区に事業について周知(H28.10.13 H29.12.26 事業説明会を開催) ○地域の取り組み：H29.7 期成同盟会から要望あり積極的な取り組みがある ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働：住民独自の沿道草刈りの取り組みがある						評価	B
	部局意見	事業の必要性が高いため、平成30年度から事業化したい。				採択状況	総合評価		
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。				○	A			

事業概要説明図表	【位置図】	 <p>(主)長野戸隠線</p> <p>事業箇所</p>	
	【平面図】	 <p>道路改築工 W=5.5m(7.0m) L=400m</p> <p>【標準断面図】</p> <p>7.0m</p> <p>6.6m</p> <p>歩道幅員4.0(5.0)m</p>	
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該路線は、戸隠と篠ノ井を結ぶ幹線道路である。国道406号から戸隠支所等中心地或いはバードラインへ抜ける車両が多く通行している。上楡木区は未改良で幅員が狭く車輦(特に大型車)の通行に支障をきたしている。また、長野県地域防災計画の第2次緊急輸送路に指定されているが、幅員が狭く、通行に支障をきたしている状況にあることから、道路拡幅事業の早期実施が求められている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H26.9 戸隠上楡木区からの要望 H27.7 H28.7 H29.7 期成同盟会からの要望	
	③事業説明等の経緯	H28.10 事業説明実施 H29.12 事業及び測量について説明実施	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	集落内を通る道路であるため、線形及び擁壁構造の検討により、生活環境への影響を必要最小限とするよう設計に配慮する。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保される。	
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	
		北緯:N 36° 41' 38"	東経:E 138° 05' 16"